

1993-1994-1995-1996-1997-1998-1999-2000-2001-2002-2003-2004-2005-2006-2007-2008-2009-2010-2011-2012-

ETIC. Annual Report

2009-2010

NPO 法人 ETIC. 年間報告書



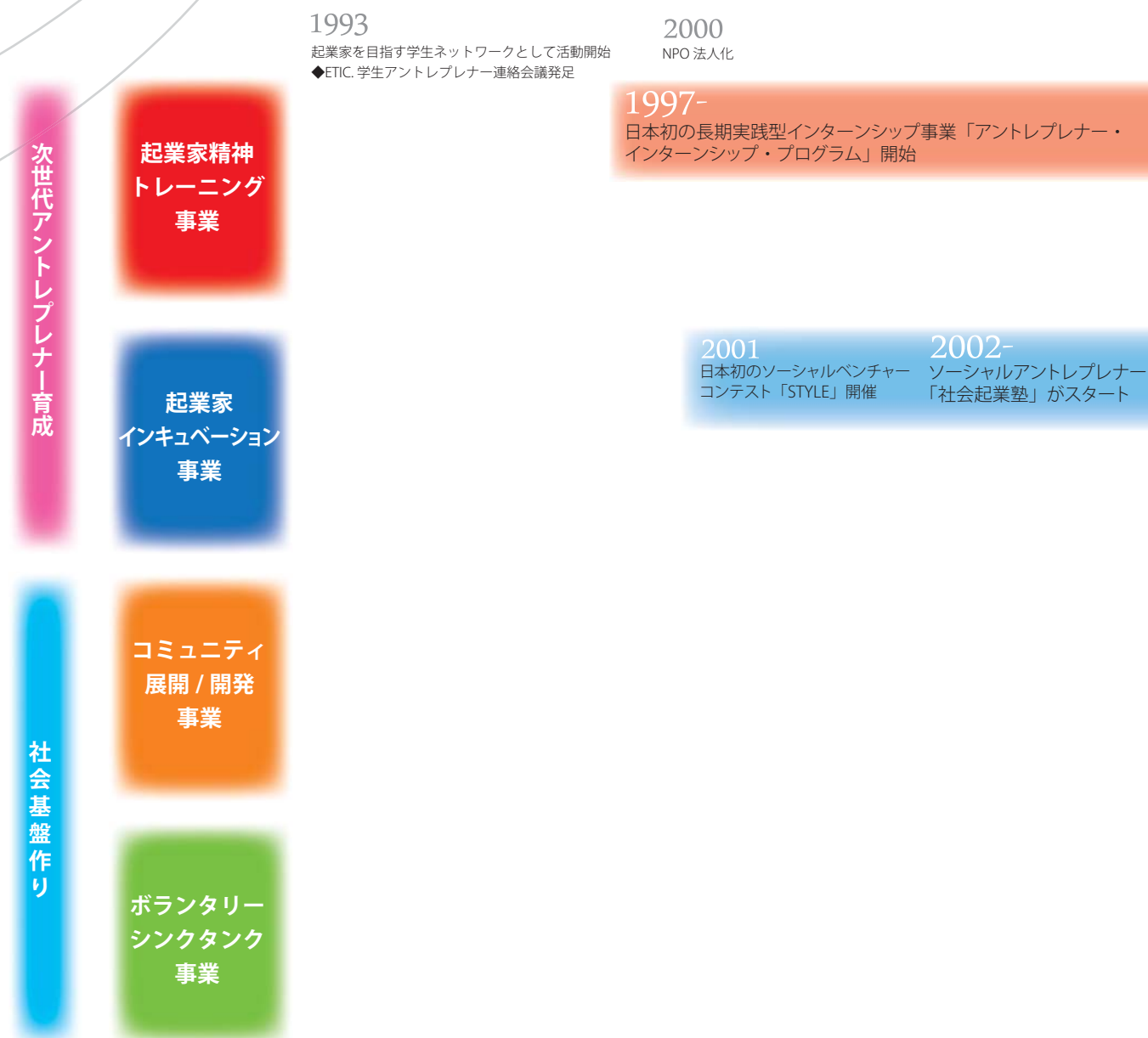
Our Mission

日本に挑戦を増やす。 そのための生態系を日本に創り出す。

大事なことは特定の問題だけを解決することでも、特別なリーダーだけが育つことでもありません。
一人ひとりが社会解決の当事者であることを認識することにあると、私たちは考えます。

Our Program

企業や行政、教育機関など多様なステークホルダーがそれぞれの動機に基づき「挑戦を支える生態系」に関わっていただける機会づくりに取り組んでいます。



Creating Innovation
イノベーションの創造

ETIC.
Approach

Developing future leaders
次世代リーダー育成

2010-
内閣府地域社会雇用創造事業採択 (10-11)
「ソーシャルビジネスエコシステム創出プロジェクト」

2008-
イノベーターを目指す社会人向けインターン
「次世代社会イノベータープログラム」開始

育成プログラム
2008-
東海若手起業塾がスタート

2008-
ベンチャー経営者による次世代起業家支援
「イノベーション・グラント」開始

2004-
長期実践型インターンシップの全国展開
「チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト」開始

2009-
ベンチャー経営者ネットワーク「ソーシャル・ベンチャー・アライアンス (SVA)」
社会起業を志す人の専用窓口「ソーシャルベンチャーセンター (SVC)」

2010-
課題解決にリサーチを通して貢献するアソシエイトチーム
「ソーシャル・アジェンダ・ラボ (SAL)」発足

ETIC. が支援する
若手起業家たち
P.03-

起業家
インキュベーション
事業
P.05-

起業家精神
トレーニング
事業
P.09-

コミュニティ展開
開発事業
P.13-

日本に挑戦を増やす
新たな取り組み
P.17

収支報告
P.18

entrepreneurs

incubation

internship

community

challenging

business report

Entrepreneurs 2009-2010

2009年度、4つのプログラムを通じて、
23人の若手起業家のスタートアップ支援・加速支援に取り組みました。



イノベーション・グラント

宮治 勇輔
(特)農家のこせがれネットワーク代表理事

就農間もない農家の自立のためのマーケティング・ブランディング支援農業プロデューサーを生むプラットフォームづくり。



イノベーション・グラント

寺井 元一
(株)まちづくりエイティブ代表取締役

街ブランドを高める地域デベロッパー。地方都市と連携しながら、都心に暮らすクリエイターやアーティストの誘致や住居・店舗物件の再生などに取り組む。



イノベーション・グラント

岩本 真実
(株)K2インターナショナル 統括責任者

安くておいしいランチが若者の雇用を作り、社会を変える「250(にこまる)プロジェクト」。寄付つきチケットでランチを販売しファンドをつくる若者就労支援。



イノベーション・グラント

中村 俊裕
kopernik 共同創設者

オンラインマーケットプレイスを通じ、革新的技術を所有する会社と途上国と一般市民をつなげ、発展途上国に波及させる。



イノベーション・グラント GS教育・NPO支援

渡辺 由美子
(特)キッズドア 代表理事

大学生ボランティアによる、日本の子供支援チームを構築、意欲ある学生の児童支援団体への派遣。



イノベーション・グラント

作田 知樹
Arts and Law 代表

ボランティア法律家による芸術文化への法務支援を目的とした無料相談プログラムの研究および実施。



NEC社会起業塾

山田 貴子
(株)Waku-Work 代表

フィリピンの貧困地域を救うオンライン英会話事業を通じて子どもたちのワクワクした思いを育てる自立的な地域を作る。



NEC社会起業塾

北池 智一郎
(株)TOWN KITCHEN 代表

地域に住むおおかあさんやおばあちゃんが、同じ地域に住む子供たちに、家庭の料理を提供する「おすそわけサービス」を展開。



NEC社会起業塾

白木 夏子
(株)HASUNA 代表取締役

エシカルなジュエリーの販売を通じて途上国での児童労働や搾取などの問題を解決し、貧困のない世界を創ることを目指す。



NEC社会起業塾

熊仁美、竹内弓乃、原由子
ADDS

自閉症があるお子さんとその家族が、楽しく充実した子育てを行える社会を実現するため、早期集中療育を日本に根付かせることを目指す。



NEC社会起業塾

小野 邦彦
(株)坂ノ途中代表取締役

農産物の新しい流通経路を確立することで、「作る現場」と「食べる現場」の風通しを良くする事業を展開。



NEC社会起業塾(特別メンバー)

森山 誉恵
3keys 代表

児童養護施設で暮らす子供たちに、学習ボランティアの派遣を通じた学習支援を行う。



NEC 社会起業塾 (特別メンバー)

木下 直子
チーム WITH 代表

横浜市青葉区を拠点に活動する母親達による子育て支援グループ。「スポーツ」を軸に、親子の笑顔の輪を広げていこうと活動を実施。



東海若手起業塾

小野田 美紀、山元 梢
(特)外国人就労センター 代表、事務局長

外国人青少年を対象としたジョブトレーニングを通じて、彼らが人生設計を描き、働くことのできる地域社会を目指す。



東海若手起業塾

張 敬清
(株) Keisei

留学生が日本の社会で活躍するための第一歩として、日本の組織に馴染むための就職活動支援プログラムを構築。



東海若手起業塾

岩井 万祐子
(株) ホト・アグリ 代表取締役

光技術によって野菜の付加価値を高め、商品開発や営業販売を通じて、新しい農業のカたちを提案。



東海若手起業塾

北村 隆幸
(特)せき・まちづくりNPOぶうめらん 代表理事

関市の産業活性化を目指し、刃物産業の再生に挑む。



東海若手起業塾

橋口 諭
(株) スプレーアート EXIN 代表取締役

商店街活性化事業において、スプレーアート手法により、壁面やシャッター部分に壁画を制作。



東海若手起業塾 (特別研究員)

黒野 貴義
(有) はっぴー農産

低タンパク米や高アミロース米など、健康に配慮した農業に取り組む。



GS 教育社会起業家・NPO 支援

松浦 貴昌
(特) プラストビート 代表

音楽・マルチメディアを通じた「高校生向け社会教育プログラム」で社会に貢献する心・リーダーシップ・自尊心・協調性を育む。



GS 教育社会起業家・NPO 支援

森山 奈央美
(特) ライフライツ 代表

アメリカ生まれの護身術プログラムの普及を通じて、自立的なメンタルとスキルの体得を進め、女性被害の防止に挑む。



GS 教育社会起業家・NPO 支援

松崎 英吾
日本視覚障害者サッカー協会 事務局長

視覚障害者のために開発されたサッカーで、アイマスクを付けて音のなるボールでプレーするフットサルを日本に普及させることを目指す。



GS 教育社会起業家・NPO 支援

岩切 準
(特) 夢職人 代表理事

多彩な社会教育活動を通じて、子どもから大人までがつながり合い、共に学び合い、成長していくコミュニティづくりを行う。

起業家インキュベーション事業



コラボレーションで社会に新たなコトを起こす

挑戦を支える生態系を目指して、支援環境の拡大に取り組んでいます。

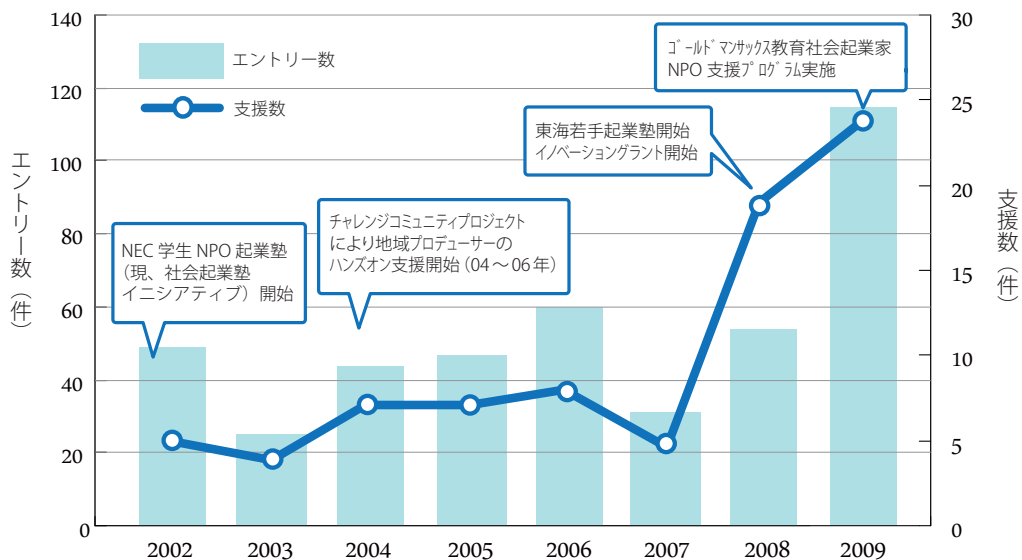
ETIC は 1993 年の設立以来、インターンシップ事業やハンズオン支援を通して

200 名以上の起業家を輩出・育成し、彼らは各分野のリーダーとして活躍しています。

さらに、2002 年より社会起業家支援に力を入れ、2009 年までの 8 年間で、

のべ **429** 名の社会起業家・予備軍を発掘し、

79 名の社会起業家へのハンズオン支援を実施してきました。



NEC 社会起業塾

多くの若手社会起業家を輩出した、挑戦する若者たちの登竜門。
ソーシャルビジネスを成長軌道に乗せる半年間



先輩経営者などを招いて開催されるVBM（バーチャルボードミーティング）は社会起業塾の醍醐味

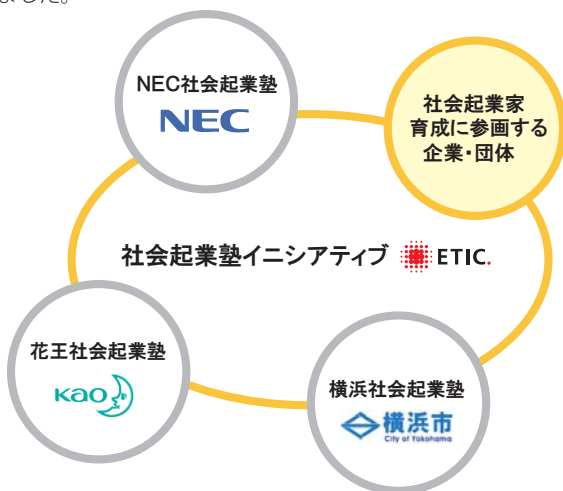
NEC 社会起業塾は、6カ月間の期間を設定し、若き社会起業家のスタートアップを共に加速していくプログラムです。この取り組みは、NEC と連携し、2002 年からスタートし 8 年を数える動きで、これまでに 37 名の起業家たちが参加し活躍しています。パートナー企業の側面支援に加え、1社につき1名担当コーディネーターを設置し、先輩起業家の紹介、事業ミッションの立て直し、事業進捗のサポートを実施し、「事業の目的と戦略」を磨ききること、その後の確かな成長の土台をつくることを目的としています。

incubation

●2010 年より「社会起業塾イニシアティブ」がスタート

複数の企業・行政が連携した社会起業家支援の新たなプラットフォームを目指します。

2009 年度から新たに横浜市がオフィシャルパートナーとして参画。横浜市支援枠が増設されました。そして 2010 年度には、新たに花王もパートナーとして加わり、社会起業家を支援するプラットフォームを目指し、「社会起業塾イニシアティブ」をパートナー企業・団体各社とともに立ち上げました。



●オフィシャル・パートナー

日本電気株式会社
横浜市
花王株式会社

●プログラムパートナー

電通株式会社

2002 年度にスタートした「NEC 社会起業塾」は今年で 9 年目を迎えます。「継続は力なり」と言う言葉のとおり、これまで 34 団体の起業家達がこの塾から巣立っていきました。その修了生の多くが、社会が抱える様々な課題を事業で解決するという高い志のもと、立ち足はかかる困難を乗り越えながらも、徐々に社会変革を起こし始めています。政府が強調する「新しい公共」の担い手でもある「社会起業家」は、ますます社会から求められ、また期待もされています。NEC は、今後とも人材・資金・製品・IT 技術・施設・教育プログラムなどのリソースを活用した取り組みを通じて、社会起業家を志す若者を応援していきます。

NEC CSR 推進部長兼社会貢献室長 鈴木 均

横浜市は、日本を代表する社会起業家を多数輩出し、全国の社会起業家の登竜門となっている NEC 社会起業塾に、平成 21 年度より自治体で初めてオフィシャルパートナーとして塾運営に加わり、横浜の社会的課題の解決を促進する社会起業家の育成・輩出に力を入れてきました。平成 22 年度からは、より多くのパートナー事業者が参加できるよう「社会起業塾イニシアティブ」が新たにスタートします。NEC 社会起業塾として培われてきたノウハウをより多くの方に分かち合うことができ、より多様な主体が連携して社会起業家の育成に取り組むことにより、従来に増した効果が期待できます。この新たな取組を契機として、社会起業家創出の輪が広がることを期待しています。

横浜市経済観光局 経営・創業支援課長 今富雄一郎

ある会合でのこと。「花王はどんな会社でしょう」という問いに、「家族を幸せにしてくれる会社」という答えがかえってきました。多くの家庭の中で花王の商品は使われてきました。家族の歴史とともに歩んでいる商品といっても良いでしょう。今、日本の様々な地域で格差社会の拡大に伴い、家族の有り様が問われています。こうした問題に正面から向き合い、世の中の仕組みを変えていこう、という若き社会起業家の方たちを応援して、よりよい社会を次世代につないで行くお手伝いをしたいと思っています。ひとつ、ひとつの力は小さくても続けることで、大きなネットワークになるよう期待しています。

花王株式会社 サステナビリティ推進部長(兼)社会貢献部長 嶋田実名子

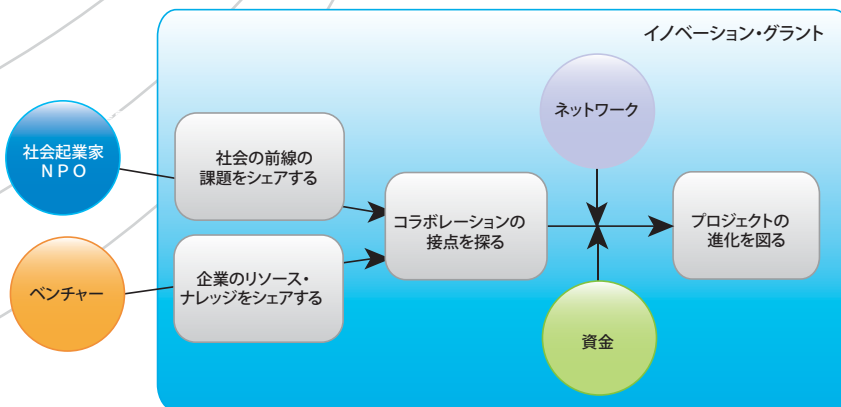
起業家インキュベーション事業

イノベーション・グラント



フロンティアを切り拓いてきたベンチャー経営者と若手起業家が連携し、ソーシャルビジネスを加速させるプラットフォーム

フロンティアを切り拓いてきたベンチャー経営者が、各社のビジネスインフラやネットワーク・資金などを持ち寄り、社会の現場の課題・ニーズに対峙し挑戦する若き社会起業家たちと繋がることで、この場から新たな協働事業・プロジェクト等が生み出されています。2009年より株式会社ウインローダー、株式会社ビジネスバンク、2010年より株式会社ネクストが参画し、パートナー企業のコミュニティが広がっています。



パートナー企業経営者が集まり、起業家たちに直接事業へのアドバイスを行う定例報告会。

●イノベーションパートナー



●サポートパートナー



●メディアパートナー



●連携事例

アイデア × コペルニク KICK IT! ワールドカップキャンペーン



途上国支援と日本企業の技術をつなげる コペルニクとアイデアインターナショナルが連携し、ワールドカップに合わせたファンドレイジングキャンペーンを行いました。双方の強みを活用し、アイデア社が特別デザインのフットサルボールを準備し、コペルニクがプロジェクト寄付を募ることでマーケティング連携を実現しました。

●支援・連携事例

- ・パートナー企業各社の協力による総額240万円の資金提供
- ・ビジネスバンク社による社会起業家に対するオフィス無償提供プログラム（5名の起業家に対して、1年間のオフィス提供を実施）
- ・パートナー企業経営者5名による経営支援・メンタリング
- ・NPO 法人キッズドア × スリープログループによる教育貧困イベント実施
- ・コフレプロジェクト × ウインローダーによる化粧品回収プロジェクト



東海若手起業塾



Tokai
Young Entrepreneur Seminar/
Supported by
Brother Industries Ltd.

地域からの共感を得て、地域に愛されるビジネスへ。

東海地域の4つのNPOと実行委員会を組織し、若手起業家支援の仕組みづくりを。



第2期生の6組の起業家たち。個別の事業戦略会議には、32名の方がアドバイザーとして参画。

第2期を迎えた東海若手起業塾には、「在日外国人の就労支援」や「留学生を活用した中小企業のグローバル展開支援」「関市の刃物産業再生」など、ものづくりの集積地であり外国人を多く抱える東海地域ならではの地域課題に着目した起業家が参画しました。

また、東海地域のメディア向けの情報発信（09年度メディア掲載件数：計20媒体）や、ブラザー工業社員向けのフォーラム、社員参加型のボランティア企画など、地域そしてパートナー企業社員からの共感を得られるプロジェクトを目指し、活動をしています。

主催・運営：東海若手起業塾実行委員会

NPO 法人アスクネット

NPO 法人 G-net

NPO 法人起業支援ネット

コミュニティユースバンク momo

NPO 法人 ETIC.



協賛：ブラザー工業株式会社

incubation

ゴールドマンサックス 教育社会起業家・NPO支援プログラム

ゴールドマンサックスとの連携で、教育分野での社会イノベーションを図る社会起業家のステージアップを支援するプログラムを実施しました。教育・人材育成分野で活動する事業型NPOの活動の拡大・仕組み化の課題解決について、先輩起業家などをゲスト講師に、具体的なケーススタディを通じて参加者が相互に学びあう場づくりを行いました。教育問題をともに扱う起業家同士のその後にもつながるコミュニティづくりができました。



地域応援ナビゲータ事業 (東京都地域中小企業応援ファンド助成事業)

東京都の社会的課題解決、地域資源活用を軸にした新事業の創出を支援する「地域資源活用イノベーション助成金」の活用・申請支援を始めています。最大800万円を上限に、新規事業開発にかかる経費に対して提供される半額助成の取り組み。ベンチャー企業皆様や、新たに事業を起こす起業家による、ソーシャルビジネス推進を後押ししています。

■助成交付団体
(ETIC が関わらせていただいている団体)
(2009年度前期)

- 株式会社ウイングル
— 東京都「特例子会社設立支援プロジェクト」
- 株式会社マイファーム
— 耕作放棄地を再生「体験農園マイファーム」
- 株式会社ワーク・ライフバランス
— 休業者職場復帰支援プログラム armo

(2009年度後期)

- 株式会社 Kaien
— 日本初、自閉症の強みを活かすIT検証事業
- 株式会社ガイアックス
— 学校裏サイト対策サービス
- NPO 法人フローレンス
— 待機児童問題解決の為に新型小規模保育事業
- 株式会社グローバルエージェンツ
— 隣人交流の促進による生活満足度の向上

起業家精神トレーニング事業

未来を創る**当事者**になれ

起業家・気鋭のリーダーと一緒に、限界を超える半年間。

ETIC. インターンシップ・プログラム



挑戦を支える生態系のコア・エンジンとして、ETIC. は長期実践型インターンシップを今までも、そしてこれからも重視し、取り組んでいきます。

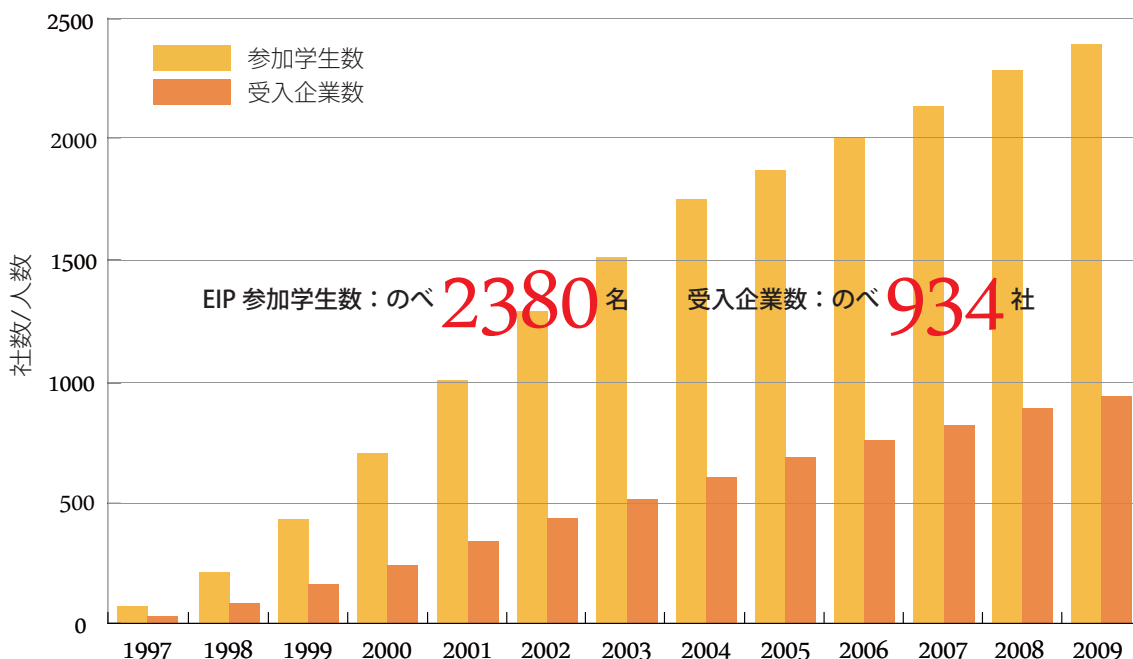
1997年から始まったスタートアップの現場における長期実践型インターンシップは12年目を迎え、

延べ **2380** 名の大学生が参加、

受入企業もベンチャー企業・大手企業新規事業部・NPO など **934** 社を数え、

起業したプログラム参加者は **100** 名を超えています。

2009年からは、新たな取り組みとして20代の社会人も対象とするプログラムがスタートし、これからも社会のイノベーションに貢献するリーダー人材の育成に取り組んでいきます。



アントレプレナー・インターンシップ・プログラム

学生時代に、スタートアップの現場に参画し、起業家精神を体感する実践型プログラム。

Entrepreneur Internship Program(EIP)

力強い未来へのビジョンと戦略、誰にも負けない実行力で、新しい時代を切り拓く経営者・起業家のもとで、「期間限定の正社員」として事業の発展に貢献します。2009年度は特に、社会起業家の右腕として、新規事業・新サービスに取り組むインターン生が増えました。

●実施プロジェクト（09年度：48社、108名参画）

新規事業開発プロジェクト率 **21%**

●創業120年の老舗会社の本業を通じた社会貢献プロジェクト



株式会社大川印刷にてインターン
国際教養大学4年 鷲尾直美さん

●上場企業の戦略的新規事業を社長と二人三脚で立ち上げ



トレジャーファクトリー株式会社にてインターン
東洋大学4年 片岡逸生さん

●ひとり親家庭の病児保育をサポートする街頭募金プロジェクト



NPO法人フローレンスにてインターン
千葉大学2年 長田晴孝さん

●ソーシャルメディアを活用して障がい者スポーツを普及



日本ブラインドサッカー協会にてインターン
慶応大学3年 植原正太郎さん

●ニート問題の根本解決を目指し、大学中退予防事業を立ち上げ



NPO法人NEWVERYにてインターン
国際基督教大学2年 小林明日香さん

ソーシャルビジネス受入団体数 **16社**

●健診弱者への手軽で安価な健診サービス他地域展開プロジェクト



ケアプロ株式会社にてインターン
東京学芸大学4年 落合拓史さん

起業家精神トレーニング事業

●活躍する OBOG

学生時代に先輩起業家のもとで、価値創造の加速経験をした OBOG たち。彼らは今、社会の最前線で挑戦を続けています。



EIP2006 年度

障がい者の雇用促進を目指す
ウイングの代表取締役に就任
長谷川敦弥さん
株式会社ウイング 代表取締役
(株式会社ガイアックス 06 年度 EIP メンバー)



EIP2002 年度

健診弱者向けワンコイン検診
サービスの利用者数が 2 万人突破
川添高志さん
ケアプロ株式会社 代表取締役
(有限会社ナースケアー 02 年度 EIP メンバー)



EIP2004 年度

モバイル、ソーシャルメディアを
活用したヘルスケア事業を創業
佐藤竜也さん
株式会社プラスアール 代表取締役
(株式会社フラクタリスト 04 年度 EIP メンバー)



EIP1998 年度

新規事業・ワーク・ライフバランス
コンサルタント養成講座を開講
小室淑恵さん
株式会社ワーク・ライフバランス
代表取締役社長
(株式会社ネットエイジ 98 年度 EIP メンバー)



EIP2003 年度

子供たちが、まちの生態系を知り、
伝え、守る「まちエコキッズ」
事業開始
西本千尋さん
株式会社ジャパンエリアマネジメント 代表取締役
(株式会社商店街ネットワーク 03 年度 EIP メンバー)

●2009-2010 TOPICS

- 横浜市経済観光局の委託事業の一環で、市内の社会起業家や挑戦的な中小企業の元での長期実践型インターンシップが本格始動。横浜市内で約 10 のインターンシッププログラムを展開中です。
- 27 歳で障がい者の雇用促進を目指す、株式会社ウイングの経営者になった長谷川敦弥氏が新たに現役インターン生の期間中の成果創出を側面サポートする「プロフェッショナル・ゼミ」の講師に加わりました。
- 内定後に実力をつけるためインターンに参画する学生が増加。ETIC. としても「内定後インターン」を積極的に推進しています。
- 大学時代は戦略的に「5 年間」にするのが新しい!“ 戦略的休学のススメ” セミナーを開催。開催の様子が日経新聞 1 面コラムの「春秋」に取り上げられました。休学してインターンに取り組む学生も増加しています。
- ダイヤモンド社との共催で“生きがいに繋がる仕事を自分たちで創り出すには?” セミナーを開催。本業を通じて社会貢献に取り組む経営者や気鋭の社会起業家が登壇。200 名を超える学生が参加しました。



次世代社会イノベータープログラム

2009年度より、20代の若手社会人や内定後の4年生を対象に、社会的課題解決や地域再生・地域活性化に取り組むNPO・企業に新規事業リーダーのポジションで挑む「次世代社会イノベータープログラム」がスタートしました。

●実施プロジェクト（09年度：8プロジェクト 8名参加）

岡本祥公子さん



○実践現場：NPO 法人サービスグラント



【団体におけるミッション】

ボランティアベースの活動を持続発展可能にするために収益モデルを確立させる

【実績】

「プロボノ」という概念を広めるイベントの企画・実施、スキルを持った社会人プロボノの獲得に大きく貢献すると共に、本プログラムパートナーである NEC 社会貢献室と連携し、NEC 社員が NPO を期間限定で支援するプロボノ・プロジェクトをスタート

【プログラム終了後】

そのままサービスグラントに参画し、収益モデル開発、オペレーション統括などを取り仕切り、代表の右腕として、引き続き活躍中。

羽佐田瑤子さん



○実践現場：NPO 法人フローレンス



【団体におけるミッション】

病児保育問題解決に続き、待機児童問題解決をするための新規事業を立ち上げる

【実績】

区役所との折衝、保育スタッフの採用、施設の確保、価格設定、収支計画作成など、事業立ち上げのあらゆる業務を担い、2010年4月日本初のマンション内保育施設である「おうち保育園事業」をサービスインさせる。

【プログラム終了後】

プログラム終了と共に、大学を卒業。大手 PR 会社に就職、フローレンスでの実績が買われ、行政クライアントを任されている。数年後、介護業界の問題解決に貢献するような事業への参画を計画している。

市瀬 拓哉さん



○実践現場：アマタ株式会社（京都府京丹後市）



【団体におけるミッション】

京丹後の地域資源を地元・高校生みずから発掘・編集・発信することで、将来、地元の活性化に貢献する人材を育成する新規事業を立ち上げる！

【実績】

地元丹後の高校生の募集・育成、協力してくれる地元住民の巻き込み、高校生の発表の場である京都市内のアンテナショップの企画、立案など、事業のすべてを統括。地域活性化の起爆剤と期待され、多数のメディアにも取り上げられる。

【プログラム終了後】

協働先の NPO に就職し、同事業を継続・発展させるために事業統括責任者として引き続き活躍中。

●オフィシャル・パートナー



NEC 社会起業塾の OB 起業家に対するフォローアッププログラムであり、次の社会起業家予備軍育成の機会として、本プログラムに参画



循環型システムの形成による持続可能社会の実現に取り組むアマタ株式会社が、次世代の地域再生プロデューサー育成の機会として、本プログラムに参画

コミュニティ展開・開発事業 ～地域への生態系の展開～

チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト

日本中のイノベーションの現場を、若者たちのチャレンジの機会に。

若者の挑戦を支える生態系を日本中に展開していくため、各地のプロデュース団体（CP：チャレンジ・プロデューサー）と連携し、長期実践型インターンシップを地域社会に根付かせていく事業を展開しています。

東北エリア

株式会社デュナミス(宮城県仙台市)
「若者の夢を志に開花させる伴走者」として、地域と共にインターンや就活支援など若者のキャリア形成を支援
<http://www.dunamis.jp/>

NPOハーバランス(山形県山形市)
山形で「社会課題の解決に取り組む姿勢」と「起業家精神」を持った若者が育つコミュニティ作りに取り組む
<http://herbalance.org/>

株式会社明天(福島県会津若松市)
インターンシップ、伝統工芸活性化、NPOの中間支援を軸に地域づくりのコーディネートを行う民間企業
<http://meiten.biz/>

北信越エリア

NPO法人ヒーローズファーム(新潟県新潟市)
地元企業や農業・観光地等、地域資源を活用し、地域と若者が共に挑戦する舞台を創る、コーディネート集団
<http://herosfarm.net/>

株式会社御蔵川(石川県七尾市)
民間まちづくり会社として「小さな世界都市・七尾」の実現に向け、まちを育て、みせを育て、ひとを育てる
<http://www.misogigawa.com/>

関西エリア

NPO法人JAE(大阪府大阪市)
志ある若者を輩出するため、小学生から大学生までを対象に、「仕事」に関する体験型教育プログラムを提供
<http://jae.or.jp/intern/>

株式会社出藍社(大阪府大阪市)
大学と地域の連携教育、中小企業等への経営支援を通じて、若者と地域が共進化する社会を目指す企業
<http://www.shutsuransha.net/>

NPO法人ユースビジョン(京都府京都市)
より良い社会の実現に向けて、主体的に社会を創造、変革していく意欲、知識、スキルを持つ若き市民を育てる
<http://www.youthvision.jp/>

九州エリア

株式会社ハウ・インターナショナル(福岡県飯塚市)
飯塚市の地域活性化、独自技術の追求、ベンチャー起業家の育成を行い、新しいビジネススタイルを提供
<http://www.haw.co.jp/>

NPO法人ネイチャリング・プロジェクト(鹿児島県鹿児島市)
経営者的な視点と志を持つ社会起業家の育成支援を行い、地域再生の為に様々な業態との協働を推進中
<http://www.naturing.org/>

有限会社ルーツ(沖縄県宜野湾市)
拠点は沖縄。モチーフは松下村塾。社会変革はひとりの変革からが信念。次世代担い手の発掘・育成を推進
<http://www.roots58.jp/index.html>

北海道エリア

合資会社neeth(北海道札幌市)
北の大地、北海道での農業・漁業のリノベーション事業をプロデュース!地域社会のイノベーションに取り組む
<http://www.neeth.biz/>

ピオネイロ(北海道札幌市)
北海道から地域×若者の挑戦を発信。長期実践型インターンシップにて持続的なコミュニティづくりを支援
<http://pioneerio.org/>

関東エリア

NPO法人ETIC(東京都渋谷区)
次世代の起業家型リーダーの育成・輩出を通じて、社会のイノベーション創出に貢献するNPO
<http://www.etic.or.jp/>

横浜社会起業支援プロジェクト(神奈川県横浜市)
横浜市内にソーシャルビジネスの担い手が生まれ育つ、環境や仕組みの創出を目指す(横浜市経済観光局委託事業)
<http://www.etic.or.jp/yokohama/>

東海エリア

NPO法人東海道・吉原宿(静岡県富士市)
静岡県富士市の吉原商店街の活性化と、地元高校生と駄菓子屋の運営などを通じて商業に特化した活動を展開
<http://www.yoshiwara.net/>

NPO法人G-net(岐阜県岐阜市)
岐阜、三重、名古屋でのインターンシップを展開。岐阜大学等と協働してのキャリア教育講座の開発も実施
<http://www.gifst.net/>

NPO法人アスクネット(愛知県名古屋市中区)
学校、市民・企業、地域・行政と連携した教育事業を通じて、学びあい育ちあいの共同体づくりを目指すNPO
<http://www.asknet.org/>

中四国エリア

NPO法人学生人材バンク(鳥取県鳥取市)
鳥取県で農村地域を元気にするNPO。大学生と地域をつなぐ。第6回オーライ!ニッポン大賞受賞
<http://i-site.jinzaibank.net/dd.aspx>

株式会社巡の環(鳥取県隠岐郡海士町)
持続可能な地域モデルを創る為、地域の魅力を最大限に活かし人々が主体となる地域づくりに挑戦する企業
<http://www.megurinowa.jp/index.html>

NPO法人Eyes(愛媛県松山市)
「志溢れる若者・地域」を目指し、インターンシップ・キャリア教育事業を地域とともに展開しているNPO
<http://www.npoeyes.net/>

株式会社南の風社(高知県高知市)
高知県の山間地を中心に、地域づくり現場を経験できる「いなかインターンシップ」を展開
<http://www.minaminokaze.co.jp/>

●09年度新規参画 CP 団体

株式会社御蔵川(みそぎがわ)

石川県の能登半島の付け根にあたる人口約 6 万人の七尾市で、住民出資によって設立された民間まちづくり会社。経済産業省による「ソーシャル・ビジネス 55 選」にも選出。2010 年度より、「能登留学」と名付けた長期実践型インターンシップを開始。

NPO法人ユースビジョン

NPOの現場でのインターンをコーディネートするとともに、関西におけるソーシャルビジネスプランコンテスト「Edge」をコンソーシアム形式で2006年度より実施している。

株式会社巡の環(めぐりのわ)

鳥根県の北、日本海に浮かぶ離島・隠岐島海士町。人口約 2400 人、4 割が 65 歳以上という少子高齢・過疎の町。「島まるごと持続可能な社会のモデル」となるべく様々な分野で最先端の取組を展開。

NPO法人ネイチャリング・プロジェクト

10 年前より鹿児島県で、人材育成のためにスクール・コンサルティング・ネットワーク形成・事業者支援活動等を行う。公益の視点、クリエイティブな経営能力を持つ人材を育成し、公的サービスの担い手である社会起業家の輩出を目指して活動。

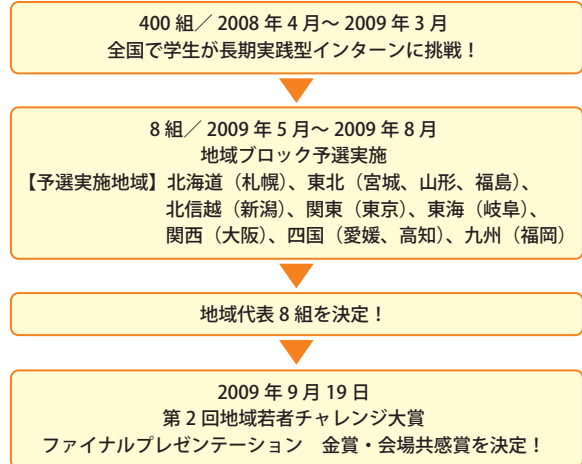
●初秋の風物詩へ 第2回地域若者チャレンジ大賞開催！



新潟が会場共感賞・金賞をダブル受賞！

地域ブロック代表としてプレゼンテーションを行った学生と経営者8組を表彰。新潟の「地産地消事業立ち上げプロジェクト」（インターン生：新潟大学の宮澤さん・受入企業：総合フードサービス）が審査員によって選ばれる金賞、当日参加者の投票により決められる会場共感賞のダブル受賞を果たしました。規格外野菜を使い「地元の美味しい野菜を子供たちに！」をコンセプトに、野菜の流通の仕組みを再構築し、地元の子供たちの給食に美味しく安全な野菜を届け、なおかつ、売上等の事業的成果も上げたことが評価されました。

▼開催までの流れ



▼審査基準

1. 学生
【姿勢】【学びの深さ】【未来への挑戦意欲】
2. 大人
【時間的、精神的コミット】【挑戦機会の提供】【自身の変化】
3. 事業成果
【定量実績】【定性実績】
4. 社会性
【地域の巻き込み度】【社会的意義】

●チャレンジ・コミュニティ・プロジェクトは第3フェーズへ

インターンシップ参加学生数：のべ **1568**名

地域CP団体数：**16**団体

第1フェーズ（04-06）「モデル開発期」

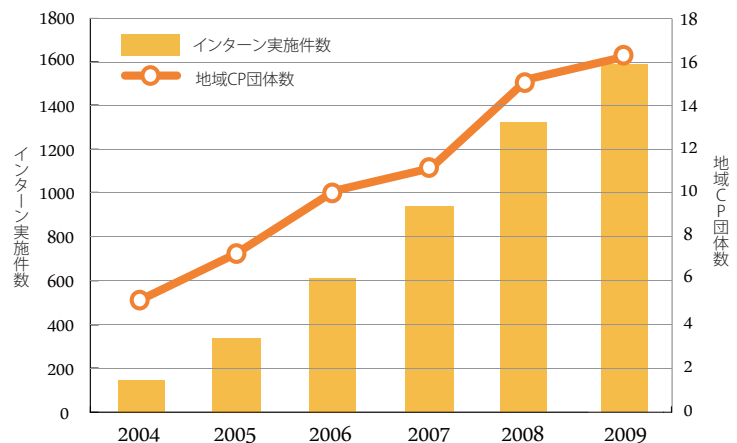
地域での長期インターンシップ事業を成立させるモデル団体の発掘・育成

第2フェーズ（07-09）「プラットフォーム構築期」

上記モデル団体に加え、新規参画団体も活用できる研修制度やツール製作、ポータルサイト、協働事業等のプラットフォームを開発

第3フェーズ（10-12）「拡大・成長期」

上記プラットフォームを活用し、対象地域（団体）数を飛躍的に拡大



community

東京ベンチャー留学

2泊3日で東京のベンチャー経営者の志に触れるプログラム

地域にいる学生を対象に、東京でベンチャー企業経営者・インターン経験者・学生起業家との対話・交流を通じ、次なるアクションにつなげてもらう3日間のセミナー。修了後は地元に戻り、自分で新たなプロジェクトを仕掛けていく学生が続出しています。全国から単身で乗り込んでくる個性豊かな参加者同士のつながりも本プログラムの貴重な財産。2003年にスタートした本企画はこれまでに34回開催し、総参加者数は797名にのぼります。



コミュニティ展開・開発事業 ～潜在層への啓蒙活動～

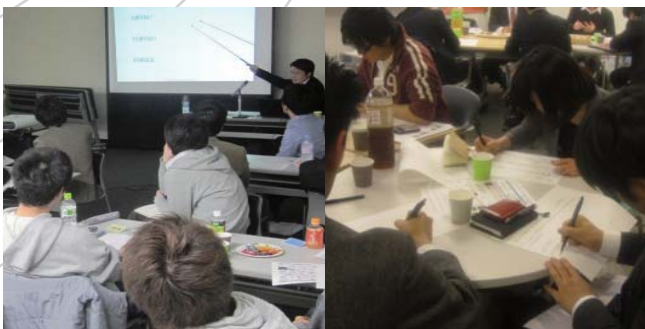
SVC：ソーシャルベンチャーセンター

社会起業やソーシャルビジネスを志す人材のための専用窓口

社会問題の解決に、ビジネスを手段として用いるソーシャルアントレプレナー（社会起業家）や企業のCSRが注目されてくるにつれ、多くの人々が、社会の未来を拓く当事者となるべく、具体的なステップを模索し始めています。ソーシャルベンチャーセンターでは、そのような人々が自らの頭で考え、問題解決の糸口を発見し、次なるアクションに進むための情報提供とアクションサポートを行っています。

●活動報告（2009年10月～2010年5月末実績）

1. セミナー・イベント（22回開催、計674名が参加）



『ソーシャル・チェンジ・ワークショップ』では、ゲストによる基調セミナー後に、参加者同士で新たなビジネスアイデアを考えるワークショップを実施。

2. 個別相談／プロジェクト・経営相談会 （計149名のキャリア相談、経営相談を実施）



10名の起業家を目指す若者を対象に、経営相談会を実施。3ヶ月で3回の相談会を実施するプログラムとなっている。

●2010年度に向けて

2010年度は、セミナーや相談会から、実際にキャリアチェンジや、創業へとつながっていく「ステップアップ率」の向上をテーマに活動を展開していきます。

最新情報は SVC 公式 HP をご覧ください。 <http://www.etic.or.jp/svc/>

セミナー開催テーマ・ゲスト例

『社会を変える』を仕事にするためのキャリアデザインセミナー国際貢献編
照屋 朋子氏（NGO ゆいまーるハミングバズ 代表）
山田 貴子氏（株式会社 WAKU-WORK 代表）

『グローバルリーダーシップフォーラム』～国をつくるという仕事～
西水 美恵子氏（元世銀副総裁）

『ソーシャル・チェンジ・ワークショップ』

第1回 食・農業から世界を変える

川北 秀人氏（IIHOE「人と組織と地球のための国際研究所」代表）
宮治 勇輔氏（株式会社みやじ豚 代表取締役社長）

第2回 教育事業で世界を変える

毛受 芳高氏（NPO 法人アスクネット 総合プロデューサー・理事）
片貝 英行氏（NPO 法人キッズドア）

第3回 技術を通じて世界を変える

古川 拓氏（アライアンス・フォーラム財団理事）

第4回 日本を通じて世界を変える

高野 剛氏（独立行政法人国際協力機構 民間連携室 参事役）

第5回 好きなまちから世界を変える

中島 淳氏（株式会社カルチャーアットフォーシーズンズ代表取締役）

『先代の仕事をソーシャル化する』～環境・エコ編～

大川 哲郎氏（株式会社大川印刷 代表取締役社長）
高嶋 民仁氏（株式会社ウインローダー 代表取締役社長）

『途上国の問題を日本の先進技術で解決する』

～飛躍する日本のものづくり中小企業！～

中村 俊裕氏（NPO Kopernik 共同創設者）
遠藤 謙氏（マサチューセッツ工科大学メディアラボ）
Jose Gomez-Marquez 氏（マサチューセッツ工科大学・IIIH）

主催：東京都 事務局：NPO 法人 ETIC.（エティック）

（ソーシャルベンチャーセンターは東京都の委託を受け ETIC. が運営を行っています）

ソーシャルベンチャーセンター 東京都

検索

コミュニティ展開・開発事業 ～ビジネスセクターとの連携～

SVA：ソーシャル・ベンチャー・アライアンス

次世代起業家の育成とソーシャル・イノベーションの創出を目指す経営者ネットワーク

フロンティアを切り拓いてきたベンチャー経営者が集い、次代を担う若手起業家たちとともに、未来の日本を創るソーシャル・イノベーションの創出に挑んでいく。そしてこの連携を通じて、若手起業家たちが経営者として成長していき、次世代へとイノベーションの連鎖が繋がっていく。このようなダイナミックな生態系（エコシステム）を、創りあげていくために、09年度新たに経営者ネットワークを立ち上げました。

●活動報告（2009年10月～2010年5月末実績）

1. ソーシャルベンチャー勉強会

（5回開催、計85名の経営者が参加）



第1回の話題提供者は、イデアインターナショナル橋本社長。徹底した「人間至上主義経営」に基づく事業展開から、起業に至る壮絶な経緯まで、刺激的なお話をしていただきました。



ソフィアバンクの田坂広志氏をお招きしての勉強会には、多数の経営者が参加。資本主義の進化について講義いただきました。



「ニューヨークのマザーテレサ」と呼ばれる社会起業家、コモングラウンドのロザンヌ・ハガティ氏をお招きしての朝食会を開催。

2. Midnight Session - 深夜の経営者合宿

（2010年3月6日：34名の経営者が参加）



ソーシャルイノベーションをどのように加速させるか？戦略会議勃発！本郷の旅館に集結した経営者たちが、深夜まで白熱した議論を展開。障害者雇用、地域活性、保育事業、ソーシャルメディアと、話題は多岐にわたりました。



若手起業家とのアライアンスを通じて、ソーシャル・イノベーション創出と、次世代起業家の育成に取り組んでいます。
*詳細は「起業家インキュベーション事業」を参照ください。

●2010年度に向けて

2010年度は、若手起業家との更なるアライアンスを目指して、ベンチャー経営者との「ランチ相談会」など、新たな取り組みを進めています。

●SVAメンバー紹介（五十音順）

アレン・マイナー氏／サンブリッジ株式会社 代表取締役会長
井上 高志氏／株式会社ネクスト 代表取締役社長
井関 貴博氏／株式会社 EC ホールディングス 代表取締役
上田 祐司氏／株式会社ガイアックス 代表執行役社長 CEO
大久保 和彦氏／株式会社ファクトリアル 取締役
孫 泰蔵氏／アジアングループ株式会社 代表取締役
荻原 国啓氏／株式会社ピースマインド 代表取締役社長
高嶋 民仁氏／株式会社ウインローダー 代表取締役社長

高山 雅行氏／株式会社アイレップ 代表取締役会長 CEO
中尾 憲司氏／株式会社ヒューマンアクティベーション 代表取締役
野坂 英吾氏／株式会社トレジャーファクトリー 代表取締役
橋本 雅治氏／株式会社イデアインターナショナル 代表取締役社長
長谷川 敦弥氏／株式会社ウイングル 代表取締役社長
浜口 隆則氏／株式会社ビジネスバンク 代表取締役
平石 郁生氏／株式会社ドリームビジョン 代表取締役社長
松本 浩志氏／マテックス株式会社 代表取締役社長

日本に挑戦を増やす新たな取り組み

ソーシャルビジネスエコシステム創出プロジェクト

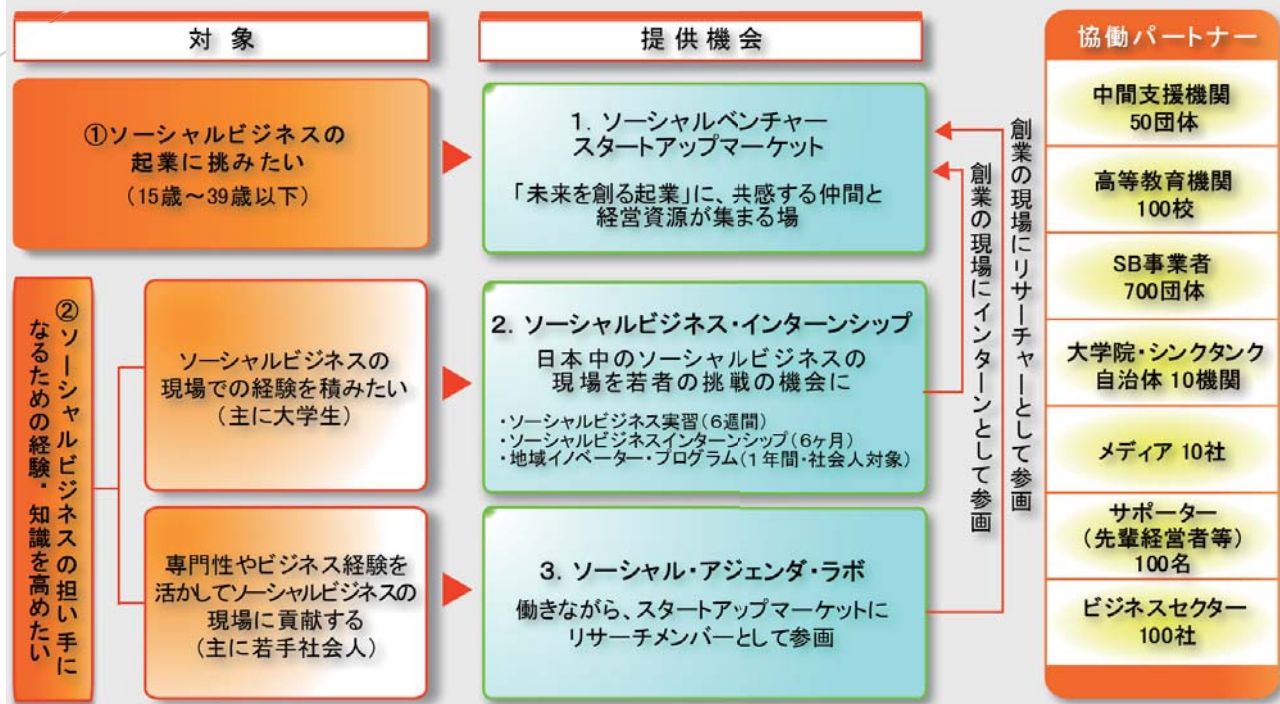
(内閣府地域社会雇用創出事業 2010年-2011年委託事業)

産業界、地域コミュニティ、大学等の協働により、次世代社会起業家を育成する生態系（エコシステム）」の創出を目指します。

私たちは、これから日本において起業家やリーダーが輩出され、活躍していくためには、多くの人や経営資源が集い、相互に関わってくような関係性や文化の構築が不可欠であると考えています。今回、その挑戦を支える繋がりをさらに加速し、日本中で新たなチャレンジが生まれ、社会を変える志高き事業が創造される基盤づくりを目指し、内閣府「地域社会雇用創出事業」の一環として「ソーシャルビジネスエコシステム創出プロジェクト」をスタートします。国の支援も頂いて行うこれらの取り組みを、未来を拓くチャレンジが次々と生まれ、自己増殖していく繋がりの生態系、「ビジネスエコシステム」ともいえる社会基盤を創出し、その自律的な進化を生み出すための「投資」としたいと考えております。

生態系を創出していくためのプロジェクトの全体概要

産業界、地域コミュニティ、大学、中間支援機関等との協働により、ソーシャルビジネスの担い手を志す若者のための、成長と挑戦を支える仕組みを生み出していきます。



●提供する3つのプログラム (詳細は公式HPをご覧ください <http://socialbusiness.etic.jp/>)

ソーシャルベンチャー・ スタートアップマーケット

この場では、起業資金に加えて、人材、知識、信頼などの様々な「資本」を獲得し、新たなイノベーションが続々と生まれる、ソーシャルベンチャーの「ビジネスマーケット」を創り出すことを目指します。

目標：125名のスタートアップ支援

ソーシャルビジネス・ インターンシップ

活躍しているソーシャルベンチャーや地域変革に挑む企業が受け入れ先となった「実践型インターンシップ事業」を通して、次世代にチャレンジしていくリーダーを育む場を創出し、同時に大学・自治体等とも連携し、さらなる協働プログラムの確立と地域への展開を促進します。

目標：1365名へのインターンシップ機会提供

ソーシャル・ アジェンダ・ラボ

社会起業家が取り組む課題を効果的に解決していくために、ニーズを構造的・定量的に把握するためのリサーチアソシエイトを公募。スタートアップ期の社会起業家のステークホルダーヒアリングやデータリサーチなどによる個別サポートを提供します。

目標：120名へのリサーチ機会提供

収支報告

●2009 年度決算

・年度末に地域社会雇用創造事業を受託。事業基金10億円を一括で受領したため、特別会計とします。

・2009年度の予算に対しての達成度は94%となりました。(地域社会雇用創造事業除く)原因としては、年度途中第4四半期より急遽、地域社会雇用創造事業への取り組みを踏まえ、事業計画を変更したことにあります。

・2009年度の予算目標としては、1)黒字決算 2)ここ数年多かった行政委託収入比率を下げ自主事業比率を伸ばすとしていました。結果、行政委託42.9%、自主事業57.1%となり、自主事業比率は微増(対2008年度比。但し地域社会雇用創造事業特別会計除く)、決算も黒字となりました。2010年度も、地域社会雇用創造事業特別会計外の予算においては、引き続き自主事業比率を高める事業計画を推進します。

科目	2009年度決算 金額	2009年度予算 金額	達成率
I収入			
通常事業			
非営利事業	92,547,088		
営利事業	57,067,261		
通常事業合計	149,614,349	159,060,000	94%
特別会計			
地域社会雇用創造事業基金	1,000,000,000	0	-
特別会計合計	1,000,000,000		
収入合計	1,149,614,349	159,060,000	723%
II支出			
事業費			
非営利事業	43,262,432		
営利事業	13,164,537		
事業費合計	56,426,969	15,300,000	369%
販売費及び一般管理費	99,150,772	143,000,000	69%
営業外費用	461,353	440,000	105%
支出合計	156,039,094	158,740,000	98%
当期収支差額	993,575,255	320,000	
前期繰越収支差額	18,349,971	18,349,971	
次期繰越収支差額	1,011,925,226	18,669,971	

科目	金額	科目	金額
I資産			
流動資産		II負債	
現金	1,699,814	流動負債	
預金	1,024,192,474	前受金	12,600,000
未収入金	3,474,773	短期借入金	10,025,120
その他	11,992,551	その他	14,748,048
合計	1,041,359,612	合計	37,373,168
固定資産		固定負債	0
有形固定資産	47,024	III正味財産	
無形固定資産	7,891,758	正味財産繰越額	18,349,971
合計	7,938,782	正味財産増減額	993,575,255
資産合計	1,049,298,394	正味財産合計	1,011,925,226
		負債および正味財産合計	1,049,298,394

●2010 年度予算

科目	2010年度予算 金額	2009年度決算 金額	前年度比率
I収入			
通常事業収入合計		147,127,350	98%
収入合計		147,127,350	
		149,614,349	98%
		(ただし基金除く)	
II支出			
事業費			
事業費	83,010,000	56,426,969	147%
事業費合計	83,010,000	56,426,969	147%
販売費及び一般管理費			
販売費及び一般管理費	62,895,236	99,150,772	63%
販売費及び一般管理費合計	62,895,236	99,150,772	63%
営業外費用			
営業外費用		500,000	108%
支出合計	146,405,236	156,039,094	94%
当期収支差額	722,114		

科目	2010年度予算 金額
収入	
地域社会雇用創造事業基金 (決算上は昨年度計上)	1,000,000,000
収入合計	1,000,000,000
支出	
事業費	190,496,000
事業費合計	190,496,000
人件費及び一般管理費	141,879,000
人件費及び一般管理費合計	141,879,000
支出合計	332,375,000
当期収支差額	667,625,000
前期繰越収支差額	
次期繰越収支差額	667,625,000

- ・地域社会雇用創造事業基金は特別会計とします。
- ・地域社会雇用創造事業実施に伴い、スタッフを増員、それに伴う人件費、管理費等も増加するため地域社会雇用創造事業以外の本来基盤事業も予算の達成を 目指します。
- ・本来基盤事業においては、昨年度に引き続き自主事業比率をあげていく事業計画を推進します。
2010年度目標 行政委託比率 38.2% 自主事業比率 61.8%

2011-2012-2013-2014-2015-2016-2017-2018-2019-2020-2021-2022-2023-2024-2025-2026-2027-2028-2029-2030-2031-2032-2033-2034

団体名称：特定非営利活動法人エティック

設立：1993年 **法人化**：2000年3月

役員：代表理事 宮城治男

理事 孫泰蔵（アジアングルーヴ株式会社 代表取締役）

理事 佐藤真久（東京都市大学 環境情報学部 専任講師）

監事 松田修一（早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 教授）

スタッフ数：39名（うち専従24名）

所在地：〒150-0041

渋谷区神南 1-5-7 APPLE OHMI ビル4階

連絡先：電話番号 03-5784-2115

FAX 番号 03-5784-2116